

(様式第3号)

津山市議会出前懇談会開催結果報告書

令和5年11月24日

津山市議会議長 様

出席議員代表 金田 稔久
報告者 河村 美典

津山市議会出前懇談会を下記のとおり開催しましたので報告します。

記

開催日時	令和5年11月24日 午前・午後9時00分～午前・午後11時40分
開催場所	津山市立勝北中学校 ランチルーム
議題	主権者教育「津山市の未来、どうなってほしい？」 (第3学年社会科公民的分野:「地方自治」単元の一時として)
参加団体名	津山市立勝北中学校 第3学年生徒
出席議員	金田稔久、河村美典、末永弘之、寺坂のり子、中島完一、広谷桂子、三浦ひらく (総務文教委員会)
懇談内容	<p>第3学年の2学級の生徒(1組19人、2組20人)が、社会科公民的分野「地方自治」単元の学習のなかで、本市の施政について調べ抱いた疑問や市政への要望をもとに、「教育」「文化」「福祉」「雇用」「観光」「防災」の6つのグループに分かれて懇談を実施。</p> <p>なお、グループに分かれての懇談であるため、懇談内容とは一例とする。</p> <p><一例></p> <p>【要望】</p> <p>○冷暖房の空調設備を整えてほしい →来年度、約半分の市内小中学校特別教室にエアコンが整備されること、残る小中学校にも早期に設置されるよう議会としても努力することを伝える。</p> <p>○タブレット活用のための通信環境を改善してほしい →全校の生徒がタブレットを一斉に活用したとき、インターネットにつながりにくくストレス</p>

を感じるとの意見に対し、高速大容量通信環境整備は少しずつ進められてきたが、今後ともさらなる改善が必要であることを理解したことを伝える。

【質問】

○多子世帯応援事業について

→少子化、人口減少が進む中で、多くの子どもを出産していただくために、国は児童手当の拡充や保育料の減免等に取り組んでいるが、それにプラスして本市として第2子、第3子出産時に子育て支援として給付金を送るものであること、ならびに人口を増やしていくことが今日の重要課題であることを伝える。

○津山市の文化について

→津山では江戸時代から牛馬市が開かれ、肉養生という牛肉を食べる習慣があったこと、それにより津山市に牛肉文化が根付いた。牛肉以外には和菓子やおから、鯖寿司など名物といえる食べ物もある。まちじゅう博物館構想は、博物館や美術館を作ってそこに展示するのではなく、津山市内に点在する歴史遺産や文化遺産を巡ってもらい、津山市の良いところを発信していくこと。津山城では現在、春のさくらまつり、牛うま王選手権、秋のもみじまつりなどが開かれているが、観月会やイルミネーションなどもっと数多くのイベントを毎月のように開催することで、多くの観光客に来てもらうことに繋がると伝える。

【感想】

○中学生の考える津山の未来について生の声を聞くことができたのは貴重な体験であった。是非とも他の中学校でもこのような会が実現することを願う。また、議会として「高校生模擬議会」を実現させたいと感じた。

○第5次総合計画など本市の施策についていろいろと調べ自分たちの意見をまとめていた。前向きな姿勢と熱心な取組に感動した。

○避難訓練は、火事、地震の他不審者から身を守る訓練などおよそ3か月に1回程度実施されているが、防災教育はあまりなされてなく、必要性を感じた。

○公民教育について、「若者」が政治に関心を持ち、参画するという意欲を持ってもらう、選挙にも参加し、投票にもいってもらうという「新しい時代への動き」として、こうした企画が、全ての学校で行われ、「若者の政治離れ現象」に終わりを告げたいと思った。